



▶青森県弘前市

寄附者による事業参加型 ふるさと納税で交流人口を拡大

弘前市では、ふるさと納税の使い途として、重要文化財である弘前城の石垣修理費用を募集するとともに、その時期にしかできない体験を通じて、弘前城や石垣修理について学んでもらおうと、工事の節目に合わせ石垣修理に関する体験イベントを実施し、寄附者に案内を送付しています。特に、平成27年に実施した天守を人力で引っ張る「天守曳屋体験」はメディアでも紹介され、多くの反響をいただきました。



ロープを力を合わせて引っ張り、人力で天守を動かした「天守曳屋体験」



築城当時、人力で石を運んできた方法を体験する「石曳き体験」

また、寄附者に年賀状を送付し、石垣修理や弘前4大まつりなど寄附の使い途に関する情報のほか、ふるさと納税についてのお知らせなどを記載し、寄附者とのつながりを大切にしてまちのPRを行っています。

注力した点や工夫した点

ふるさと納税による支援に止まらず、実際にまちを訪れて「天守曳家体験」に参加いただくことで、寄附者が楽しみながらより事業に貢献している実感を持ってもらえるよう工夫しました。

Check

取組の効果

体験イベントは寄附者がまちを訪れるきっかけとなっており、交流人口は増加し、今後も経済的な効果や将来の移住につながることを期待されます。

寄附者自らが楽しみながら弘前城や石垣修理について学ぶことで、ふるさと納税が石垣修理にどのように使われているか、自分の目で見て知ることができる機会となっており、弘前市のファンづくりにつながっています。



工事用足場を特別に歩き、解体が進む石垣を間近で見学

また、寄附者に年賀状を送付することにより、再度の寄附やイベントへの参加につなげています。



寄附者へ送った年賀状

寄附者の声



- ・世紀の石垣大修理に参加する事ができ、うれしく思っています。
- ・無事に引っ越しが終わった弘前城に会える日を楽しみにしています。

住民の声



- ・「天守曳屋体験」に参加することで、寄附者の方にお城を動かす達成感や歴史の重みなどを感じていただき感慨深いです。